

給仕の作法

給仕人は青竜会館で待機

中老より給仕人2名依頼される。

中老が戻ったあとを見はからい仮屋へ出向く。

「お年寄り衆はじめご一同さんご苦労様です。」と声を発し仮屋へ入る
中老の両脇に正座する。

中老より「給仕人2名揃われました」の声を聞き上座へ進む。

1 相手に向かって一步進み1歩戻る。その後、袴を踏まないように股の袴を両脇に割り正座する。一礼をする。

杯と雄蝶雌蝶をそれぞれ受け取る。一礼をする。

お盆を持って立ち両者内回りにて中老の方を向く。

中老の前まで進み、一步前へ1歩下がり足を揃えてその場で正座する。一礼をする。

毒味の杯 中老に差し出す

2 お盆を手に取り相手に杯を取ってもらう。盆を置き雄蝶（雌蝶）を手に取り御神酒を注ぐ。このとき3回に分けて注ぐ。雄蝶（雌蝶）を床に置き、相手が飲み干すのを待つ。飲み干されたのを確認してから、お盆を差し出し、杯を載せてもらう。盆を床に置く。お礼をする。

雄蝶（雌蝶）を盆に載せお盆を持って立つ。

内回りにて反対を向き、年長の方へ進む。

1を行う。 2を行う。

それぞれ隣へ分かれて給仕する。【袴がずれていくので踏まないようにする】

2を行う 順次給仕を行い 最後に中老で終わる。一礼をし盆を持って中老の脇に正座する。

「続いて2献の杯を差し上げたく存じます。」と中老が年長に申し上げるのを聞いて立ち上がり、前へ進み出る。

1と 2を行い、順次中老まで給仕をする。中老の脇へ正座する。

「続いて3献の杯を差し上げたく存じます」と中老。年長が「3献の杯はめでたく知新連共々祝いたく存じます。」と告げる。それを聞き中老は知新連に出向き呼びに行く。

知新連の年長が仮屋へ入るまでに、前に進み、知新連の年長方を待つ。年長2名が揃われた段階で先ず神事中の年長へ給仕、続いて知新連の年長に給仕。終了お盆は年長に返す。

条則を読み終わり「どなたもお祝い」でうそくが消され知新連が退場する時と同様に青龍会館へ戻る。服装はそのままで松明祭が終わるのを待つ。

終わったのを見届けて「拝所番」の年長の所へ出向き「無事滞りなく終えられおめでとうございます。」と告げる。

以上で任務終了

作成：平成13年1月3日
佐野兼晴